

あけまして おめでとうございませす



町制施行二十五周年

節目の年頭にあたって



黒崎町長
河内 直史

新年あけましておめでとうございませす。

一九七三年二月一日の黒崎町制施行から二十五周年の節目の一九九八年という誠に意義ある年を迎えました。

「すべての歴史は未来を知るための学問である」と言った歴史学者がおられますが、それは未来を正しく予測するためには、現在を知らなければならぬし、現在を知るには、過去を知る必要があるという意味があります。この教訓は私が町長就任以来、激動する時世の中にあつて誤りなき方向を模索するとき励まし、勇気づけ、また、安心立命の糧となっております。

健康で古希を迎えることのできた喜びと共に「老にして学べば、即ち死しても朽ちず」と、町長就任二年目の新たな出発年と心に期し、町政進展に精励いたす所存であります。

さて、国の内外情勢は時代変化の要請に答えられないまま、国民に大きな不安を抱かせている世紀末とも映ります。自国だけが繁栄し、平和であれば良いという一国至上のあり方は、グローバルゼーションを目指す世界各国の人々からは、もはや信頼を維持し、持続し得ないことを痛感いたします。

今年から三年間は、更に厳しい国の財政事情もあり、国策の一つである地方分権が具体的に進み、規制緩和と撤廃、省庁の再編による地方行政機構の一部変更も予想されることから、黒崎町情報公開及び個人情報保護に関する条例の制定並びに、介護保険法導入に伴う事務改善をはじめ、簡素、効率、能率を念頭におきながら、町役場の機構を改革し、新年度から新しい体制でスタートできるよう準備を進めております。

主たる懸案事業でありました「小平方一般ご

み最終処分場」及び「山田小学校体育館全面改築」工事も順調に進行しており、三月末には完成いたしました。ご努力を賜りました関係の皆様、深甚なる敬意と謝意を表します。

さて、全町民の一大関心事であります「新潟市との合併問題」の現況であります。行政制度の調整については、広報特集号でお知らせいたしましたとおり、新潟市・黒崎町合併問題協議会で審議を尽くされ、ほぼ調整の方向性が見いだされております。現在は、昨年九月に当町から提出した合併後の町づくりビジョンである合併建設計画素案の検討を新潟市が行っている段階であります。かなりの時間を要すると思われれます。今後は、新潟市・黒崎町合併問題協議会で建設計画の案がまとまりましたら、住民説明会等を開催し、町民の皆様にお知らせしたいと考えております。

また、「新潟交通電鉄廃止問題」であります。昨年四月四日に文書で「鉄道事業を平成十年三月末日をもって廃止したい」旨の申し入れがあり、直ちに沿線市町村及び議会・関係機関等の支援のもとで存続要望を行ってきたところであり、具体的進展がないまま現在のところ、会社側との話し合いは行われておりません。昨年秋、自治体側の取り組みとして有識者等五名による検討委員会を設置し、昨年末に提言をまとめていただきました。それを踏まえて近々、存続に向けて会社側と交渉することになっております。最後まで

予断は許されない状況であります。

また、特別養護老人ホームの当町建設について、鋭意検討してきました。国の財政構造改革による事業費削減方針で、建設は年々、厳しくなつてきておりますが、福祉施設の充実にして、早期建設に向けて努力いたす所存であります。

その他、地域や自治会・学区単位での課題やご要望等は、昨年の町政懇談会で十分意見交換をさ

町制施行二十五周年

第四次総合計画の推進で限りない発展を



黒崎町議会議長
高橋 喜一

新年あけましておめでとうございませす。

町民の皆様には、健康で希望に満ちた新春を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

新年にあたり、黒崎町議会を代表して皆様にごあいさつ申し上げます。

本年は、平成も十年を迎え、当町も二月一日には、町制施行二十五周年の記念すべき日を迎えます。また、七月には、旧曾野木村から善久、山田地区が当町に編入されてから五十周年の節目の年でもあります。バブル崩壊後長引く景気低迷の中、大手金融、

せていただいておりますので省略いたします。

何はともあれ、時代の潮流による社会の変化が住民生活そのものに与える影響は大きいものがあります。しかし、二十一世紀に入る準備だけは国も地方自治体もしっかりやらねばなりません。諸般の意味を込めまして、黒崎町制二十五周年を意義ある年にするため、町民あつてご参加いただける記念事業を実施いたします

証券、保険会社の倒産など、一段と日本経済は厳しさを増しております。国においては、国民に対する景気対策が最重要課題となっており、更に規制緩和や省庁再編、行財政改革、少子高齢化対策など早急にこれらへの対応が国民から求められております。このような状況の中にあつて明るい話題と云えば、本年二月に長野県で開催される冬季オリンピックや、苦節四十三年でようやくアジア予選で出場権を獲得し、六月にフランスで開催されるワールドカップサッカーそれぞれの出場選手や日本チームの活躍が期待されており、それに伴う経済効果も望まれております。

当町は、県都新潟市の隣接町として町民の皆様のご協力により限りない発展を続けております。街づくりは、第四次総合計画に基づき計画的に進められており、平成九年度は、山田小学校屋内運動場の改築、ごみ最終処分場第二期工事、うるおいロードの整備や、順次進めてまいりました各小中学校のコンピュータ導入事業が完了いたしました。ここに理事

ので、ご協力ご支援をお願いいたします。

歳月は、果てしなく歴史を刻み、時は、黙々として追憶を濾過していく、良い思い出は、いつまでも、

心の中に生きつづけるものであります。本年も町民の皆様にとりましてご健康で、幸多いことを心から祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。

者及び関係の皆様へ深く感謝申し上げます。

新潟市との合併問題につきましては、行政制度の調整について、概ね合意が得られたことから、当町の要望をふまえて合併した場合の財政計画案及び建設計画案が任意協議会事務局で検討されており、関係機関と調整後それぞれの案が出来た、当町議会及び任意協議会で審議される予定となっております。合併問題は、当町議会の最重要課題であり、慎重に審議を進めてまいり所存でございます。

当町議会として長年の懸案事項でありました議会の発行につきましては、平成十年度からの発行を目指して議会内で準備委員会を設置し検討を行っております。議会の情報紙として町民の皆様から親しまれる議会報にいたしたいと思っております。

国の内外とも大きな変革の時期に遭遇しており、地方行政におきましてもまさに行政の真価が問われている時代の中にあつて、当町議会といたしましては住民福祉の向上について最小の経費で最大の効果が上がるよう行政の政策に対し、議決機関として町民の皆様への負託に応えられるよう努力してまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに臨み、本年も町民の皆様にとりまして健康で、幸多い年でありませう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。